

ASV

月刊 [エムエスアール]

5月号

メンテナンスショップレポート

令和6年4月5日発行 (毎月5日発行)

特集① **特定整備認証制度を
正しく理解する!**

特集② **特定整備関連機器紹介**

[連載]

エイミングを深く知るためのASVの基礎知識 /
車販取り組みのための基礎工事 / 実践M&A こんな時どうする?
現役マネージャーいづみの細うで繁盛記

業務スピードが確実にアップ! もちろんコンプライアンスも充実対応!!

コンピュータ検査ラインシステム



検査業務効率化システム

ネットワークシリーズ **NW9200**

各種車検機器をコンピュータと接続し、検査ラインの自動制御を行うと共に、車両の測定、及び合否の色判定を行い、検査を効率よく行うためのシステムです。

車検台数、業態、ニーズに合わせて選べる ネットワークシリーズ

- Net work Pro** ネットワークPro
処理能力をさらにパワーアップ、業務ソフトとオンラインを実現。
- Net work Light** ネットワークLight
必要な機能を絞り込んだLightな機能・価格のシステム。
- Net work Easy+** ネットワークEasy Plus
合否判定機能を搭載、さらに導入が容易なシステム。
- Net work Master** ネットワークMaster
自整業システムとオンライン、検査項目の印字も可能なシステム。

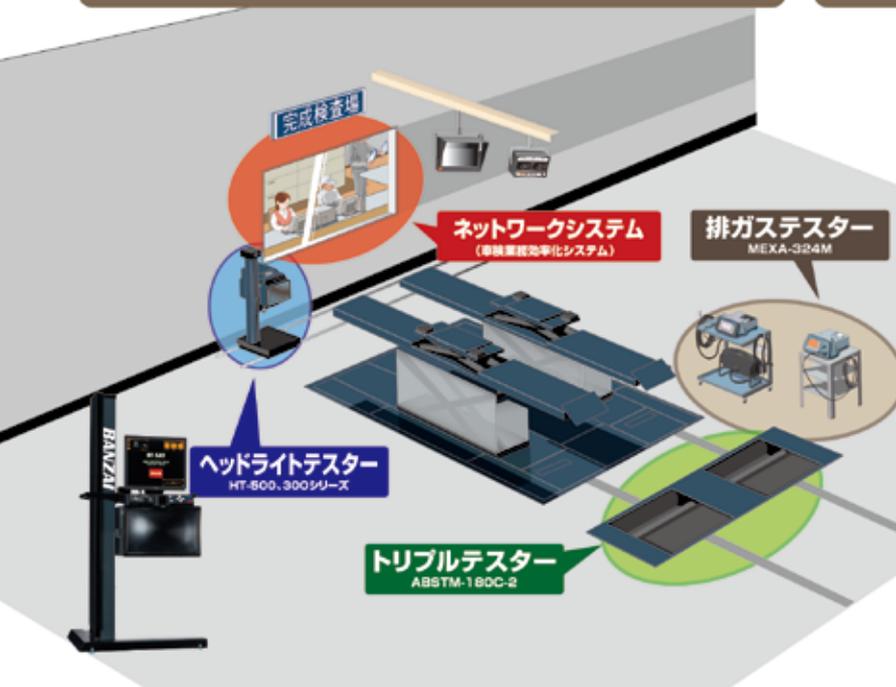


業務効率の向上

顧客・車両のコンピュータ管理
車検帳票類のコンピュータ印字
車検証の自動読み込み(OP)

質の向上

ヒューマンエラーの防止
コンプライアンス遵守
プライバシーポリシーの強化



検査ラインでの車両自動撮影が可能。 画像管理システム フォトセーバー



- 車両ナンバーと紐付けて画像管理
- ネットワークシステムとの連動で自動撮影も可能(オプション)
- 最大12台のカメラ接続が可能



視認性、デザイン性が向上!
トリプルテスターに
グラフィックメーターが
新登場!

▲ 安全に関するご注意 -ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しく使用ください。(型式・仕様は予告なく変更することがあります。)

整備業・钣金業 経営戦略システム

Strategic Management System
For Autoshop and Repairshop

TOMCAT

自動車整備・钣金業のためのIT。

自動車整備・钣金業様の売上アップのお手伝いをします。

AUTOSHOP REPAIRSHOP

このようなお悩みはありませんか？

- 🔧 法改正等で増え続ける日常業務
- 🔧 手間増加 / 単価減少の対策
- 🔧 リース車両の管理手間
- 🔧 インボイス対応
- 🔧 事務効率アップ
- 🔧 人材に対する課題

- 🔧 顧客対応力の強化
- 🔧 顧客満足の上昇
- 🔧 顧客の固定化
- 🔧 在庫促進と固定
- 🔧 競合他社との比較
- 🔧 単価下落への対策

システムの差が企業力の差として表れる時代です。

フロントの対応力や営業力を向上させて効率アップ

時代の変化にあわせた最新のシステムプログラムの提供

TOMCAT
IMPACT
【インパクト】

TOMCAT
SCOPE
【スコープ】



TOMCAT
SMASH+
【スマッシュ】

TOMCAT
DASH+
【ダッシュ】

ANNIVERSARY
40th
SYSTEM JAPAN
SINCE 1983

札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡

株式会社システムジャパン

www.systemjapan.co.jp

〒455-0001 名古屋市港区七番町5丁目1番地16

TEL. (052)654-5711 FAX. (052)654-5712

お問い合わせ・資料請求
デモ体験のご相談など

ト ム ニ キ ク



0120-106299

突然ですが問題です

2020年4月に生産されたトヨタ・プリウス（ZVW5#系）は、
特定整備（電子制御装置整備）対象車でしょうか？

答えはここに

入庫したらすぐチェック！

特定整備 対象車種

対応ガイド

新刊

PROTO RIOS

A4判/296ページ/2色刷り/定価5,500円（税込・送料込）



2024年4月より特定整備認証制度が本格的にスタートする。電子制御装置整備対象車両が入庫した際、どんな種類の整備が必要なのか、どんな設備・環境が必要なのか、それを自社で対応できるのか否か、すばやい判定が求められます。



本書の特徴

車両が入庫した時に開くクイックチェックガイド

国産乗用車全9ブランド、全200車種のデータを掲載

対象となる電子制御装置整備の項目数と
作業概要が一目で分かる

各整備に必要な作業スペース面積、ターゲットパターンの種類、
ターゲットスタンド、エイミング方法を網羅

実際に作業をする時に必要となる、
整備要領書（Web）へのアクセス方法も明示

セット購入はさらにお得!!

エイミング
データブック
2023
（フロントカメラ&レーダーセンサ）

エイミング
データブック2023
（フロントカメラ&レーダーセンサ）

発行：公論出版
A4判 328ページ
定価4,800円（税込・送料込）

主な内容

エイミング作業時の設定数値や入力数値などを車種ごとに掲載

フロントカメラ&レーダーユニット調整値（ターゲット位置、距離と高さ&設置図/スキャンツール入力数値）

国産車168モデル（2020年1月～2023年3月末まで対象/フルモデルチェンジ車、新型車、一部改良車両など）

「特定整備対象車種対応ガイド」と
「エイミングデータブック2023」をセットで
購入すると10,300円が9,680円に!

620円
OFF

お問い合わせ・ご注文は、お近くの塗料・機械工具販売店もしくは弊社までお願い致します。

 **PROTO RIOS**
株式会社 プロトリオス



[ホームページ]
<https://www.proto-rios.co.jp/>



[BSRweb]
<https://bsrweb.jp/>

[勝ち残る整備事業者のための情報誌]

MSR

月刊メンテナンスショップレポート

令和6年4月5日発行

5月号

¥0



[表紙写真]

一般整備に始まって钣金塗装はもちろんエイミング作業にも対応した大島車輛。同業者への啓蒙にも力を入れる姿勢に頭が下がる。

Webで閲覧できます

MSRは全国の配布協力業者からお届けします。お近くに配布協力業者がない場合、下記より閲覧できます。

<https://bsrweb.jp/>
メンテナンス
ショップレポート

発行人 小川直紀
編集長 八木正純
編集・制作スタッフ 市井康義、長谷川明憲
樋口祥三郎、高橋美穂
青山竜、木下慶亮
武井宏樹、加戸利一
取材協力 泉山大（プロジェクトD）

発行所 株式会社プロトリオス

[東京編集課]

〒115-0045 東京都北区赤羽 2-51-3
TEL03-5939-4133 FAX03-5939-4135

[大阪編集課]

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町 2-3-7
TEL06-6227-5601 FAX06-6227-5606

印刷所 共立印刷株式会社

特集

06 特定整備認証制度を正しく理解する！

4年間の経過措置を終えて、特定整備認証制度が本格的にスタートした。しかし、想定したほどには認証取得が進んでいない。何が認証取得の妨げなのか、取得後は何ができて何ができないのか。改めて理解を深めてもらいたい。

08 【国交省インタビュー】 鈴木 誠 氏（物流・自動車局整備課 課長補佐）

今後も制度の認知・啓蒙に努め 1 社でも
多くの認証取得につながるようサポートしていく

09 認証パターンによる電子制御装置整備できる？ できない？

12 【事例紹介】 ガレージ・サクライ（茨城県笠間市）

資格がないのはカーオーナーに対する最大の裏切り

12 【事例紹介】 安全ガラス広島（広島県広島市）

顧客に安心・安全を安定的に提供する

14 特定整備関連機器紹介

いよいよ本格的にスタートした特定整備認証制度。中でも新たに追加された電子制御装置整備に注目が集まることは必至だ。ここでは広く電子制御装置整備に関連した機器を紹介する。

Topics

27 杉戸自動車 一般カーオーナー向けに EDR データの解析デモを実施

32 ARC ネットワーク コンプライアンス対応を学ぶ研修を追加

情報

16 新製品情報

17 情報 BOX

写真ニュース

20 IAAE2024

工場ルポルタージュ

20 大島車輛（宮崎県宮崎市）

連載記事

24 車販取り組みのための基礎工事

寄稿 チームエル 関友信

25 現役マネージャーいづみの細うで繁盛記

寄稿 ヤマウチ 人見いづみ

26 実践 M&A こんな時どうする？

寄稿 フォーバル 寺越基格

※みんなの修理事例、業界徒然草はお休みです。



特集

特定整備認証制度を正しく理解する！

特定整備認証制度（の経過措置）が始まった2020年4月から4年の歳月が流れ、ついに特定整備認証制度が本格的にスタートした。

特定整備制度において整備作業は、従来までの原動機や動力伝達装置など7つの装置の整備または改造を対象とした「分解整備」と、新たに追加された運行補助装置と自動運行装置の整備または改造を対象とする「電子制御装置整備」の2つに区分された。

それに伴い、特定整備制度においては認証のパターンも3つに細分化された（図2）。パターン1は従来の分解整備認証。そのため、新たに追加された電子制御装置整備を行うことはできない。パターン2は電子制御装置整備認証で、分解整備は行わないが、電子制御装置整備のみ作業するパターン。最後のパターン3は、従来までの分解整備と電子制御装置整備の両方の作業が可能な認証となる

しかし、充分な経過措置（期間）

が設定された割には、認証取得件数は伸びておらず、今年2月末時点で、パターン1（分解整備認証のみ）からパターン3（分解整備+電子制御装置）に変更した事業場は51,946軒、また制度開始以前は未認証だった事業場が新たにパターン2（電子制御装置整備のみ）を取得したケースは1,363軒、パターン3は1,422軒となっている。

合計軒数は54,731軒で、日整連が発表する整備事業場約92,000軒に対し、電子制御装置整備認証の取得率は約59%にとどまっている。

周知の通り、4月1日以降、電子制御装置整備認証を取得していなければ、電子制御装置整備対象車両に対するセンサー類が取り付けられたフロントバンパー及びフロントガラスの脱着・取替、それらセンサー類のエイミング作業は未認証行為となる。

ただし、あくまでも未認証行為となるのは、電子制御装置整備対象車両

に対する電子制御装置整備である。また、現行の特定整備制度では、前方をセンシングするセンサー類と、それらを取り付けられているバンパー及びフロントガラスが対象と定義されており、側方及び後方は対象外となっている。このように、対象となる車両及び整備作業が混在した過渡期であり、4月1日以降、未認証だからといって即事業ができなくなるというわけではない。

そのため、未認証工場は今後、入庫車両が電子制御装置整備対象車両かどうかチェックする必要が出てくる。これを怠ると、知らずのうちに未認証行為を犯してしまう恐れがある。また、特定整備認証制度下における外注ルールを正しく理解し、それに基づいたオペレーションが求められる。

これは認証工場も同様である。認証パターン1・2・3によってできること・できないことが異なり、特に外注時において想定されるケースが様々あり、正しく運用するためには制度に対する

電子制御装置整備に係る認証件数（速報値） 2024年2月末日時点 出典：国土交通省

	運行補助装置			自動運行装置		
	新規（申請）		変更（申請） （パターン3）	新規（申請）		変更（申請） （パターン3）
	電子制御装置整備のみ （パターン2）	分解整備 + 電子制御装置整備 （パターン3）		電子制御装置整備のみ （パターン2）	分解整備 + 電子制御装置整備 （パターン3）	
北海道	43	70	2,359	0	0	7
東北	131	97	5,083	0	0	16
関東	352	305	12,751	0	0	67
北陸信越	121	101	4,200	0	0	24
中部	282	301	8,414	0	0	31
近畿	170	224	6,836	0	0	39
中国	91	121	3,821	0	0	9
四国	37	43	2,140	0	0	4
九州	130	146	5,818	0	0	19
沖縄	6	14	524	0	0	1
計	1,363	1,422	51,946	0	0	217
			54,731			217

理解が必要不可欠である。

次々ページよりパターン1（分解整備のみ）、パターン2（電子制御装置整備のみ）、パターン3（分解整備+電子制御装置整備）、パターン3（分解整備+電子制御装置整備）+指定工場、未認証工場の5つに認証パターンを分け、それぞれに4月1日以降の車体整備作業にかかわる電子制御装置整備対象車両への対応を解説する。また、未認証工場が経過措置期間中に認証を取得した事例も紹介する。

今後、自動車技術は将来的な自動運転社会を見据え、加速的に進化を続けていく。特定整備制度とは、そのような自動運転車までもメンテナンスする未来の整備行政の体制構築に向けた第1ステージに他ならない。自社が今、何ができて、何ができないかを正しく理解、運用し、次のステージに進む準備を始めてもらいたい。

図1 特定整備の経過措置の流れ

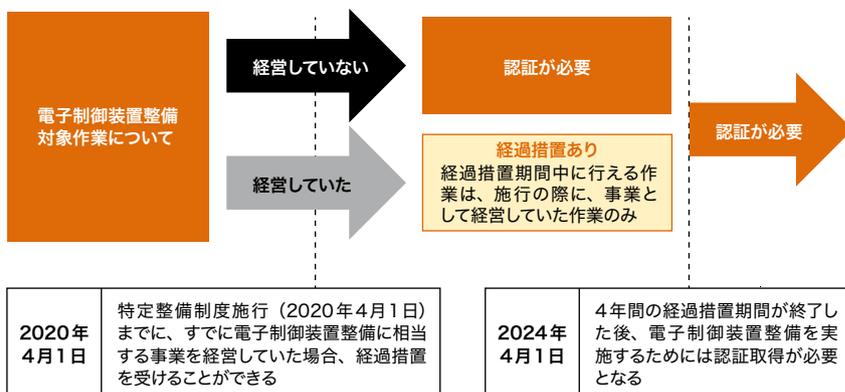


図2 特定整備の認証パターン

- パターン1 **分解整備**
 - 分解整備作業のみ可能
 - 電子制御装置整備に該当する作業は行わない
- パターン2 **電子制御装置整備**
 - 電子制御装置整備作業のみ可能
 - 分解整備に該当する作業は行わない
- パターン3 **分解整備** + **電子制御装置整備**
 - 分解整備及び電子制御装置整備の両方の作業が可能

今後も制度の認知・啓蒙に努め 1社でも多くの認証取得につながる ようサポートしていく

特定整備認証制度の本格スタートを目前に控えた今、認証取得状況やOBD検査との関連性などについて国土交通省・鈴木 誠課長補佐に話を聞いた。

※取材実施は2月22日



国土交通省 物流・自動車局整備課
課長補佐 鈴木 誠氏

— 電子制御装置整備認証の取得状況（速報値ベース）について

電子制御装置整備に対応した特定整備認証の取得件数は2024年1月末時点で約52,900件、そのうち指定整備工場の取得件数が約28,000件だった。全国に自動車整備事業場は約92,000事業場、そのうち指定工場は約30,000事業場であるため、認証工場全体では約58%、指定工場は約93%が取得している。認証工場について、昨年の同月で見ると約10,900件（約20%）増加しており、申請数が徐々に増えている。これまで、業界団体や業界関係紙誌にも協力をいただき、特定整備制度の周知を図ってきたため、目立った駆け込みでの申請数はないと思っているが、最後に申請が集中すれば、運輸支局での審査に通常よりも多くの時間が必要になることが想定される。事業者の皆様にはぜひ早めの申請をお願いしたい。

— 現状の電子制御装置整備認証取得件数に対する所感

それぞれの経営に対する考え方があり、すべての事業者の方が電子制御装置整備認証を取得するということは大変難しいかと思うが、将来を見据えて、自動車の高度化対応のため、認証取得に努めていただきたい。

国土交通省としては、これまでもスキャンツールの導入補助による支援を行っているが、2024年度も引き続き、実施していくこととしている。

— 特定整備認証制度に対する整備工場からの意見

2020年の特定整備制度創設時よりあらゆる機会をとらえて、特定整備制度の必要性を周知しており、整備事業者には理解を得られていると認識している。しかし、電子制御装置整備が必要な車両を取り扱う機会がまだ少ない整備事業者は、他の整備事業者やディーラーに任せることで当面对応する予定だと聞いている。今後の電子制御装置整備が必要な車両の状況により認証取得を計画しているとも聞いているところだ。

— 未認証工場の取得推進の助けとなるであろう「離れた作業場」と「作業場の共同利用」について改めて解説

これまでの自動車分解整備事業の認証においては、同一の敷地内において整備作業が行われる前提の制度となっており、一方で、電子制御装置整備の認証を考えるにあたっては、必ずしも認証要件を求めている作業場においてバンパーやガラスの交換作業を行う必要がないことや、より広い作業場にお

ける整備が必要となる場合が想定されたため柔軟な対応を認めることになった。

具体的には、エイミングに必要な寸法は、メーカーや車種により異なるため認証を受けた電子制御装置点検整備作業場では、必要な面積が確保できない場合があり、ある一定の規模の作業場を有していることや自動車により事業場から離れた作業場に至る所要時間がおおむね1時間以内にあることなどの要件を満たす場合に離れた作業場を同一事業場の一部として認めている。電子制御装置整備作業場の共同使用についても同様の要件を求めている。

— 今後、電子制御装置整備認証の未認証事業場に対する啓蒙は

積極的に、未認証行為に対しては情報提供を求めていくことになる。これまでと違う未認証行為もあると思うので業界団体とも協力し、具体的な事例について確認していくことになる。その結果、必要があれば、周知を図る。

— 2024年4月1日以降、電子制御装置整備の未認証行為についてどのように対処していく予定か

これまで通り、厳正に対処していく。未認証行為が行われている情報があれば、管轄する運輸局へ情報提供していただきたい。

認証パターンによる 電子制御装置整備 できる？ できない？

特定整備認証制度下において、カギを握るのは電子制御装置整備と言える。ここでは、電子制御装置整備に主眼を置き、できる・できないを一覧表（次ページ）にまとめてみた。

パターン1

分解整備のみを極める従来型の整備工場

従来までの分解整備は可能だが、フロントバンパーの脱着・交換はもちろん、エイミング作業もできない。

電子制御装置整備は全部外注で対応する。当然、未認証工場へは外注に出せず、構内外注も認められない。

元請け先の離れた作業場になった場合に限り、電子制御装置整備の一部を請け負うことや構内外注として請け負うことも可能となっている。

パターン2

付随的に必要となった車体修理事業者 or ガラス施工事業者

新たに加わった電子制御装置整備が可能だが、エンジン脱着や足回り整備といった作業はできない。

電子制御装置整備を未認証工場にすべて外注できないが、当該工場を自社の離れた作業場として申請すれば外注は可能になる。構内外注も可能なので、ガラス施工事業者との連携が想定できる。

逆に全部外注、一部外注どちらも請

け負い可能なので、離れた作業場になることなく、ディーラーからの作業を請け負うことが可能。

ただし、未認証工場からは全部外注しか請け負うことができない。

パターン3（認証）

自動車「整備」と名のつく作業はお任せの認証整備工場

分解整備も電子制御装置整備も可能なフルスペックの整備工場。できないのは、自社での指定整備（民間車検場業務）のみとなる。

電子制御装置整備を外注に出すことも可能で、自社の離れた作業場として、未認証の車体修理工場やガラス施工事業者を申請することで、フロントバンパーまたはフロントガラスの脱着・交換といった一部業務の外注も可能なので、今後大いに活用される事業形態だろう。

パターン3（指定）

車検を含むワンストップ型整備工場

分解整備と電子制御装置整備に加えて、自社で保安基準適合証まで交付できるなど、指定整備（民間車検場業務）にも対応できる、まさに「車のことは何でもお任せ」な整備工場である。

基本的な特徴はパターン3（認証）と同じだが、電子制御装置整備対象車両の指定整備においては、自社で点検整備を行った上で自動車検査員が保安基準に適合している旨を証明する必要があることから、全部外注が認められていない。しかし、電子制御装置整備の一部を認証工場に外注することは可能で、この一部外注とは主にエイミング作業のことを指している。

ただし、このエイミング作業の外注が認められるのも、「当面の間」ということで、具体的な日程までは決まってい

ない。いつ終わってもおかしくない。

また、「指定工場でありながら電子制御装置整備認証を取得していない」工場は要注意。新点検基準が施行された2021年10月1日以前にエイミング作業を事業として経営していたか否かを問わず、2024年4月以降、電子制御装置整備対象車両に対する保安基準適合証が交付できなくなる。こうした電子制御装置整備未認証の指定工場は少数派ではあるものの、該当する工場は速やかな認証取得をお勧めする。

未認証

整備とは別の本業を持つ事業者

分解整備はもちろん、電子制御装置整備＝エイミング作業、フロントバンパーやフロントガラスの脱着・交換もできない。「車を直す」ことと言えば、フロントバンパーの脱着・交換を伴わない外板修正（軽補修）ぐらいか？ 車販に特化した事業者や、SSが本業の派生業務として当たっていたケースなどが考えられる。

自社が未認証のため、電子制御装置整備の一部外注、構内外注は不可。未認証工場への外注はもちろん不可で、できることは認証工場への全部外注。しかも、この場合、作業責任を負うのも記録簿を記載するのもすべて外注先であり、自社は責任を負わない。このような状態で受けてくれる業者がはたしてあるだろうか？

また、元請け先の離れた作業場となれば、もしくは構内外注として元請け先に出向けば、フロントバンパーやフロントガラスの脱着・交換を行うことは可能。しかし、ガラスはともかくバンパーの脱着・交換だけの需要があるかと言えば、甚だ疑問ではある。

■ パターン1

- 分解整備のみ

できない作業	<input type="checkbox"/> 電子制御装置整備対象車両に対するエイミング作業やフロントバンパー及びフロントガラス脱着など電子制御装置整備作業ができない
元請けとしての対応	<input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業をすべて外注する場合、外注先が責任を負い、記録簿を記載する（自社で記録簿を書くことはできない） <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業の一部を外注することはできない <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業を未認証工場に外注することはできない <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業を構内外注することはできない
下請けとしての対応	<input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業のすべてを請け負うことはできない <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業の一部（フロントバンパーまたはフロントガラスの脱着・取替）を請け負う場合、元請け先に自社を離れた作業場として運輸支局に事前申請してもらうことで可能になり、元請け先の責任の下、委託された電子制御装置整備作業を行う <input type="checkbox"/> 未認証工場から電子制御装置整備作業の委託は請け負うことができない <input type="checkbox"/> 責任範囲を明確にした書面の締結を条件に、元請け先の責任の下、構内外注として電子制御装置整備作業を請け負うことができる
今後の対応	<input type="checkbox"/> 認証要件を満たしているのであれば、速やかに電子制御装置整備認証の取得を推奨

■ パターン2

- 電子制御装置整備のみ

できない作業	<input type="checkbox"/> すべての車両に対するエンジン脱着や足回り整備など分解整備作業ができない
元請けとしての対応	<input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業をすべて外注する場合、外注先が責任を負い、記録簿を記載する（自社で記録簿を書くことはできない） <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業の一部を外注する場合、責任は自社が負い、記録簿は両社がそれぞれ記載するが、ユーザーには自社が記載した記録簿を交付する <input type="checkbox"/> 未認証工場に電子制御装置整備作業をすべて外注することはできない <input type="checkbox"/> 未認証工場に電子制御装置整備作業の一部（フロントバンパーまたはフロントガラスの脱着・取替）を外注する場合、外注先を自社の離れた作業場として運輸支局に事前申請することで可能になり、責任は自社が負い、記録簿を記載する <input type="checkbox"/> 責任範囲を明確にした書面の締結を条件に、自社の責任の下、記録簿を記載し、電子制御装置整備作業を構内外注することができる
下請けとしての対応	<input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業のすべてを委託された場合、自社の責任の下、電子制御装置整備作業を行い、記録簿を記載する <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業の一部を委託された場合、元請け先の責任の下、委託された電子制御装置整備作業を行い、その作業に対して記録簿を記載する <input type="checkbox"/> 未認証工場から電子制御装置整備作業のすべてを委託された場合、自社の責任の下、電子制御装置整備作業を行い、記録簿を記載する <input type="checkbox"/> 未認証工場から電子制御装置整備作業の一部を請け負うことはできない
今後の対応	<input type="checkbox"/> 体制が整うのであれば、分解整備認証の取得を推奨 <input type="checkbox"/> エイミング作業への対応

■ パターン3

- 分解整備
+ 電子制御装置整備
- 分解整備
+ 電子制御装置整備
+ 指定工場

※赤文字は指定工場のみ該当
緑文字は認証工場のみ該当

できない作業	—
元請けとしての対応	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業をすべて外注する場合、外注先が責任を負い、記録簿を記載する（自社で記録簿を書くことはできない） <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業の一部を外注する場合、責任は自社が負い、記録簿は両社がそれぞれ記載するが、ユーザーには自社が記載した記録簿を交付する <input type="checkbox"/> 指定整備（車検）における電子制御装置整備作業の全部外注はできない <input type="checkbox"/> 指定整備（車検）における電子制御装置整備作業の一部の外注は、当面の間、可能。その際、責任は自社が負い、故障診断後に作業を委託し、外注先での作業後は、自社で適切に作業が行われたかどうかを確認する <input type="checkbox"/> 未認証工場に電子制御装置整備作業をすべて外注することはできない <input type="checkbox"/> 未認証工場に電子制御装置整備作業の一部（フロントバンパーまたはフロントガラスの脱着・取替）を外注する場合、外注先を自社の離れた作業場として運輸支局に事前申請することで可能になり、責任は自社が負い、記録簿を記載する <input type="checkbox"/> 責任範囲を明確にした書面の締結を条件に、自社の責任の下、記録簿を記載し、電子制御装置整備作業を構内外注することができる
下請けとしての対応	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業のすべてを委託された場合、自社の責任の下、電子制御装置整備作業を行い、記録簿を記載する <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業の一部を委託された場合、元請け先の責任の下、委託された電子制御装置整備作業を行い、その作業に対して記録簿を記載する <input type="checkbox"/> 未認証工場から電子制御装置整備作業のすべてを委託された場合、自社の責任の下、電子制御装置整備作業を行い、記録簿を記載する <input type="checkbox"/> 未認証工場から電子制御装置整備の一部を請け負うことはできない
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 指定工場として申請可能 <input type="checkbox"/> OBD車検への対応 <input type="checkbox"/> エイミング作業への対応

■ 未認証

できない作業	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備対象車両に対するエイミング作業やフロントバンパー及びフロントガラス脱着など電子制御装置整備作業ができない <input type="checkbox"/> すべての車両に対するエンジン脱着や足回り整備など分解整備作業ができない
元請けとしての対応	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業をすべて外注する場合、外注先が責任を負い、記録簿を記載する（自社で記録簿を書くことはできない） <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業の一部を外注することはできない <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業を未認証工場に外注することはできない <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備を構内外注することはできない
下請けとしての対応	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業のすべてを請け負うことはできない <input type="checkbox"/> 電子制御装置整備作業の一部（フロントバンパーまたはフロントガラスの脱着・取替）を請け負う場合、元請け先に自社を離れた作業場として運輸支局に事前申請してもらうことで可能になり、元請け先の責任の下、委託された電子制御装置整備作業を行う <input type="checkbox"/> 未認証工場から電子制御装置整備作業の委託は請け負うことができない <input type="checkbox"/> 責任範囲を明確にした書面の締結を条件に、元請け先の責任の下、構内外注として電子制御装置整備作業を請け負うことができる
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 取得しやすい電子制御装置整備認証の取得を推奨

事例 ガレージ・サクライ

資格がないのは カーオーナーに対する最大の裏切り



ガレージ・サクライ 住所：茨城県笠間市大田町976-15
 設立：2014年 月間入庫台数：5台 スタッフ数：2人（社長含む）
 敷地面積：330㎡（100坪） 工場面積：198㎡（60坪）



櫻井大介社長

未認証工場が

特定整備認証取得を目指した理由

姉妹誌ボデーショップレポート2020年12月号特集「資格なき工場の今と未来」で、特定整備制度に対する未認証工場4社の動きを紹介した。そのうちの1社が、2014年に茨城県笠間市にて開業したガレージ・サクライである。同社は通常の钣金塗装だけでなく、時間貸しオープンガレージやカスタマイジング、レストアを行うなど、一般カーオーナーとの接点が多かった。

櫻井大介社長は開業時から2級整備士資格を取得しており、特定整備認証取得に関しては前向きな考えを持っていた。「認証を取得することは業務の幅を広げるだけでなく、カーオーナーからの信頼を得るきっかけになる」。同時に、自動車整備専門学校時代は整備を中心に学んでいたため、車体整備についてはほぼ独学だったことから、「钣金塗装工場としてやっていく上で、改めて溶接や钣金を勉強したい」という思いで車体整備士の資格取得に向けた講習を受けている最中だった。

認証取得に向けた苦労とトラブル

それから4年。同社は2021年9月15日に特定整備認証を取得した。認証取得に必要な申請書類や手続きは、塗料販売店から紹介してもらった機械

工具メーカーが対応してくれたため、時間を取られなかった。必要工具に関しても大半は手持ちの工具で対応でき、足りないものはネットで購入し、そろえた。「認証取得には時間もお金もかかると思っていた。だが、周りの協力もあって思っていた以上に短時間、小額で取得できた」。

しかし、認証取得に際して多少のトラブルはあった。同社は分解整備+電子制御装置整備の一般的に言うフル認証取得を目指していた。しかし、敷地の問題でエンジンの分解・脱着スペースが確保できず、エンジン部分の認証は取得できなかった。「本当は若草色の看板にしたかった。しかし、エンジン脱着はやったことないので作業として困ることはない」と前向きにとらえる。

実際に認証標識（看板）が届いた時、「正直、工場の規模的に認証取得はできないと諦めていた。未認証工場として後ろめたい気持ちで仕事することを覚悟していただけに、標識が届いた時



タイヤチェンジャーはオープンガレージでも人気

の喜びはこれまでにないものだった」と振り返る。

特定整備認証取得後の変化と

今後の目標

特定整備認証を取得したとはいえ、日々の業務に大きな変化は生じていない。「一般顧客は認証の有無を重要視しておらず、保険会社から認証の確認などもない」。それでも認証取得は櫻井社長にとって大きなモチベーションとなっている。「保険会社であろうと、直需であろうと我々の業界は信頼関係が重要視される。資格がないのに仕事を請けることは、信頼してこちらに車を預けてくれるカーオーナーに対する最大の裏切りだと思っている」。

今後はオープンガレージの拡充など一般顧客との距離をさらに縮めていく方針で、「必要とあればその都度、資格を取得する」。信頼される工場を目指し、常に情報と勉強を積み重ねていく。



念願の特定整備認証標識

事例 安全ガラス広島

顧客に安心・安全を 安定的に提供する



安全ガラス広島 住所：広島県広島市西区庚午北2-1-1
 設立：1980年9月 社長：中川信樹 スタッフ数：22人（本店勤務：9人）
 主な業務内容：自動車ガラス交換・修理、カーフィルム・撥水施工



法令遵守のため特定整備認証は必要

広島市内に庚午本店と安東店、県下に廿日市店の3店舗を運営する安全ガラス広島は、今年で創業44年を迎える老舗の自動車ガラス施工店である。またテュフ ラインランドジャパンのガラスリペアショップ認証を同県で初めて取得するなど、修理品質の管理や社内マネジメントにも注力している。

本店では、年間約5,000台（前年度）の自動車ガラス交換・脱着及びフィルム施工などを請け負い、主要業務にセンサーカメラが装着されたフロントガラスの交換・脱着作業を含むこと、またスタッフから取得を勧める声が多かったことも、同認証取得の背景にある。

特定整備認証を取得したのは2023年12月。3拠点から計4人のスタッフが自動車電気装置整備士の資格を取り、主任者講習を受講後、電子制御装置整備認証を取得した。

情報を集める難しさとサービス化のリスク

取得に際し必要な情報は、中川社長が理事を勤めるJAGU（日本自動車ガラス販売施工事業協同組合）や運輸支局などから入手した。しかし、整備事業者ではない同社が自動車整備に関する情報を集めるのは容易ではなかったと言う。また情報取得の難しさに加え、いつ認証を取得するかも悩みの種だっ

た。その理由として、エイミング作業時のリスクについて中川社長は言及した。

センサー類校正作業には、車種に応じ静的エイミングだけでなく動的（走行）エイミングが必要。また、仮に静的エイミングでエラーがなくとも実車走行で不具合が生じるケースも少なくない。「当社は下請けによる入庫が多い。作業時に事故の保証を準備しているとはいえ、走行テスト時に車が破損する可能性のあるエイミング作業をすぐにサービス化するのは難しかった」。そのため、顧客に確実な安心・安全を提供できる体制が整うまでは、水面下で準備を進めた。

安定的に安全を提供できる体制を構築する

現在は、JAGUやエイミング関連団体、新たに加盟した整備振興会の講習を通じ、電子制御装置整備についての最新情報が得られる土台を整えた。

認証取得後は約25社の钣金塗装工場から外注先として、月間約70件の作業を受注。そのうちガラス脱着作業の約15%にエイミングが付随し、月に10件ほどを処理する。ガラス補修では出張修理をすることも多いが、エイミングはすべて自社に車を入庫して対応する。

現場では新人にも可能な限りエイミングに触れる機会を設け、自動車電気装置整備士及び自動車車体整備士の資格取得を促している。またフロントとも

連携し、顧客に見積り段階からエイミングの必要性を納得してもらえるような接客対応を心掛ける。「スタッフにとっては慣れない作業もあるが、コンプライアンス意識を高く持ち続けられるよう教育面でもサポートしていきたい」（河田睦友課長）。今後については、エイミングを新たなサービスメニューとして確立し自社で利益を出すことで、スタッフ増強や設備拡充を図る方針である。顧客の命に直結するエイミングだからこそ、「確実な情報を持って適切な作業をしなければいけない。緊張感を持ち、当社が同業他社をけん引していけるよう努めていきたい」（中川社長）。



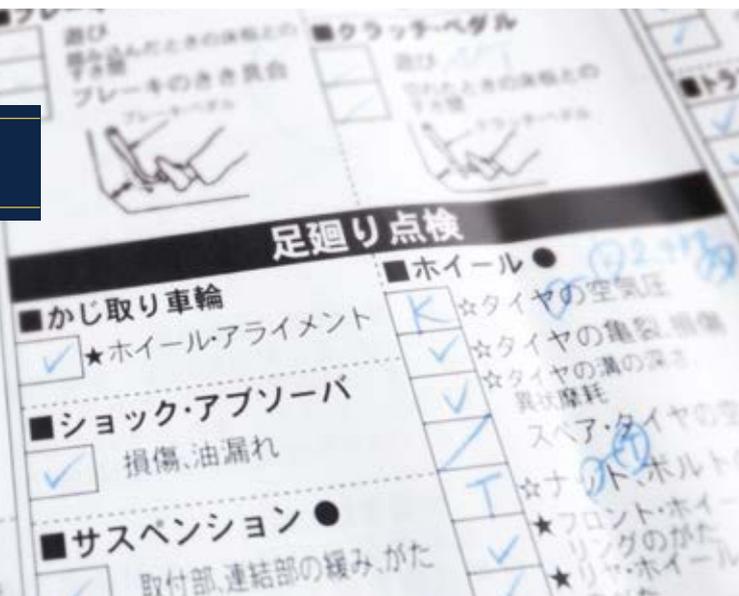
フロントガラス交換作業



エイミング作業

電子制御装置整備関連機器紹介

いよいよ本格的にスタートした特定整備認証制度。中でも新たに追加された電子制御装置整備に注目が集まることは必至だ。ここでは広く電子制御装置整備に関連した機器を紹介する。



乗り入れるだけ5秒で測定完了

タッチレスホイールアライメントテスター「ARGOS」

安全自動車 » <https://www.anzen.co.jp>

測定時間わずか5秒!※ 車両を乗り入れるだけで高精度・スピーディーな測定を実現する、タッチレスホイールアライメントテスター。 ※トー・キャンバ測定

車両を測定エリアに乗り入れ、画面が指示する位置に車両を停止させると、自動で測定を開始。約5秒でトー及びキャンバの測定が可能。

測定中は、画面にアイコンが表示され、測定手順も分かりやすく、誰でも簡単にしかも車両に乗ったまま測定できるので、作業性の向上に貢献する。

また、搭載したカメラにより、ホイールを3次元でとらえて測定を行う。従来のアライメントテスターとは異なり、ホイールにターゲット器具を装着する必要はない。

さらに、車両を囲む4つのコラム（柱）に設置されたターゲットを使用しての自己校正プログラムも搭載しているので、季節ごとの温度変化に

も適応できるなど、環境変化にも柔軟に対応する。



ブラインドスポットに対応!

後側方レーダー（ブラインドスポット）対応・エイミング支援アプリ「楽々エイミング」

イヤサカ » <https://www.iyasaka.co.jp>

iPad Proに搭載されたLiDARスキャナを利用することで、ターゲットスタンド設置位置の計測と設置にかかる時間を短縮できるアプリ。一人でも簡単にエイミングターゲットの位置出しができる。

基本的に画面表示に従って操作するだけなのでエイミング初心者でも迷うことなく安心して使える。最初に車種と検査対象部位を選択。するとiPad標準搭載のカメラが起動し、対象車両を画像として取り込み、その取り込んだ画像に対して車両の中心位置やそこから導き出されるターゲット設置位置な

どを上書き表示する。しかもこの画像はカメラを向けた方向をリアルタイムで表示するので、この表示に従って、ターゲットを設置すればOK。

収録車種情報は国内メーカー 9社 206車種（記事執筆時点）。契約すると発行されるIDを基にApp Storeからアプリをダウンロードする。対応するiPadは第2世代LiDARスキャナを搭載した2020年以降のモデルで、iOSは15.1以上に対応。iPadは別途用意する必要がある。今回、対応デバイス追加により、ブラインドスポットに対応した。



簡単・正確・低価格

エイミングサポートツール「ADASエイミングツールBASIC kit ANG-1001」

エイニーズガレージ » <https://www.annys-garage.com/>

钣金塗装業で培った知識と経験を活かし、効率性・利便性・作業性の高さを実現した全国産車対応のエイミングサポートツール。カメラとミリ波レーダーのターゲット設置位置を同時に測定できるなど、計測から設置まで簡単、正確に作業でき、エイミング作業の効率化に寄与する。

エイミング作業は、主なカメラ、ミリ波レーダーのほか、レーザーレーダー、BSM（ブラインドスポットモニター）、360°カメラ（全方位カメラ）などにも

対応する。

また、サポート体制も充実。導入前には現場を訪問して使い方や作業場所、作業体制をアドバイスし、導入後は月間100台以上の豊富な作業実績に裏打ちされたトラブル対応や各種不具合情報の共有、オリジナルマニュアルの提供などがすべて無料で用意されている。

キット内容は、メインツールとサブツール、ミリ波エイミング用リフレクター、高輝度グリーンクロスレーザー、

各種アタッチメントなどがセット。カメラエイミング用ターゲットは別売で、そのため初期導入のコストが抑えられる。



※カメラエイミング用ターゲットは別売

コンパクトなアライメントテスター

光学式アライメントテスター「ML-Q-LIGN」

バンザイ » <https://www.banzai.co.jp>

昨年のオートサービスショーで注目を集めた、光学式アライメントテスターが満を持して登場。

センサーカメラを従来機からサイズダウン及び軽量化したことで、カメラの持ち運びが容易になった。また、計測カメラ部とPC間との通信方式が無線式に変わったことで、操作性と収納等の利便性も向上した。

このターゲットには新型のクランプ「Q-Grip」を採用することで、ホイールを傷付けることなく簡単にターゲットを

取り付けることができる。

さらに操作部も従来のWindowsPCから、タブレット操作の超コンパクトPCに変わったことで、直感的な操作が可能となると同時に、大きなキャビネットが不要になるなど、設置スペース効率も上がっている。



ターゲットの自動補正機能で作業効率化

ターゲットボード「MAHLE TechPRO Digital ADAS 2.0」

明治産業 » <https://www.mesaco.co.jp>

液晶モニターにフロントカメラエイミング用ターゲットを表示するターゲットボード。デジタル距離計を用いてモニターと車両の距離を測定し、車両と正対した状態に補正してターゲットを表示するため、車両位置調整作業の工数削減に貢献する。デジタル距離計と専用スキャンツールは無線接続されており、測定値はスキャンツールに自動で反映される。また、スキャンツールと連動することで、モニターに作業手順を表示することも可能。

液晶モニター及びレーダーリフレクターなどを搭載したターゲットボード本体、タイヤクランプ、スキャンツールのセットで販売。オプションとして、カーメーカー各社・各種センサーのキャリブレーションに対応するツールを設定。





整備機器全般



ドライブスルー洗車機

「リヴェール」「リヴェールG」

洗車機本体の操作をボタン式から7インチのカラータッチパネル式に一新したドライブスルー洗車機。固定サイドノズルの形状を改良したことで、水滴が残りやすいサイドガラスへ風が多く流れる仕組みを実現。風量も従来機より3%アップし、洗車後の水滴残りを低減した。高輝度LEDディスプレイ付きの「G」もラインアップ。



エムケー精工 TEL 026-272-0601

長野県上水内郡信濃町古間1618番地 <https://www.mkseiko.co.jp/>

整備機器全般



オービタルサンダー

「CP3510/CP3511・CP7263E /CP7266E・CP7267E」

使用シーンに応じ様々な形状を揃えた縦横兼用のオービタルサンダー。パッドはのり式とマジック式を準備（マジック式のみもあり）。ハンドル部はソフトグリップで作業者の手にフィットしやすい。パワフルながら振動による負担が少ないため、疲れにくく作業効率にも寄与する。低振動仕様のCP3510/CP3511、角型のCP7263E/CP7266E、三角形型のCP7267Eを紹介。



シカゴニューマチック(不二空機) TEL 0120-72-5522

大阪府大阪市東成区神路2-1-14 FAX 06-6972-2250

グッズ類/カー用品/他



安全靴

「オールマイティLSII52L BOA」 「～VH51L BOA」

従来の靴ひもやベルトによる締め付けではなく、プッシュ・プル式のダイヤルとワイヤレースによる微細な締め付け調節が可能（BOAフィットシステム）な安全靴。シューズサイドにメッシュを採用し、通気性が良く内部がムレにくい特徴を持つ「LSII52L」と網目の大きいエアメッシュを採用した「VH51L」をラインアップ。



バンザイ TEL 03-3769-6880

東京都港区芝2-31-19 <https://www.banzai.co.jp>

グッズ類/カー用品/他



電工アジャストナイフ

「DAK-1(合金工具鋼刃)」 「DAK-2(ステンレス刃)」

刃研ぎがしやすい合金工具鋼刃及び、錆に強いステンレス刃を採用した電工ナイフ。作業に合わせて刃の出代を調整可能（0～63mm/スライドピッチ5mm）。携帯時や保管時はコンパクトに。スライドはオートロック式。裏面のダイヤルで刃の振れを抑えられる。VVF（VA線）の縦割りが安全かつ簡単に行えるスリット刃と、落下防止コードの取付け穴も付いている。



ベッセル TEL 06-6976-7771

大阪府大阪市東成区深江北2-17-25 <https://vessel.co.jp/>

情報

BOX

information box

バンザイ

名古屋トレーニングセンター オープニングイベントを開催



バンザイは、名古屋トレーニングセンター（岐阜県岐阜市）で、2月27・28日の2日間にわたり、「名古屋トレーニングセンターオープンイベント」を開催した。

同イベントは、同社名古屋支店が主催となり、名古屋支店管内の販売店、得意先を招待して開催され、本年10月から始まるOBD車検に向けた準備として、「どうなる整備業界OBD車検への備え」と題したセミナーを実施し、大変好評を博した。

また、セミナー関連商品として、Q-LINE（最新のアライメントテスター）、Q-DAS（デジタルエイミングサポートツール）、最新のトルコンチェンジャー等のデモンストレーションも行われた。

同イベントには、販売店、得意先を合わせて、2日間で80人以上の参加があり、大盛況のうちに終了した。

イヤサカ

OBD検査・エイミングセミナーを開催



イヤサカは2月1・2日の仙台支店を皮切りに、整備事業者向け「OBD検査・エイミングセミナー」を開催した。同セミナーは高度な自動車整備の豊富な知見を盛り込んだ座学（講師は同社顧問の佐野和昭氏）と、同社のエイミングツール「楽々エイミング」の新機能とOBD検査専用のスキャンツールを実際に使用した実演で構成。ディーラーのサービス担当者や專業整備事業者が多数参加した。全国9会場で12回開催された。

アルティア

整備用リフトに安全装置を標準装備



アルティアは、すべての整備用リフトに非常停止装置「安全スイッチ」を標準装備することを発表した。国産リフトでは業界で先駆けた取り組みとなる。

リフト事故のほとんどが取り扱い不良と点検不履行によるもの。安全スイッチの装備により、万が一の際にリフトを瞬時に非常停止させることがで

き、被害を最小限に抑えることが期待される。

対象機種は下記の通りで、4月より順次販売されている。

- リンク式リフト
「メガパワーⅢ/メガパワーフラット」、
「エクセレントパワーリフト」シリーズ
- 2柱/門型2柱リフト
「SKY MAXⅢ」シリーズ
- 可搬式リフト
「エクセレントスリムリフト」シリーズ
- キャタピラ式ツインリフト
- フロントリフト他シリーズ

JAGU

エイミング講習会を開催



日本自動車ガラス販売施工事業協同組合（JAGU）は3月3日、東京海上日動市川研修センター（千葉県市川市）でエイミング講習会を開催した。

同講習会は近畿や九州など他の支部に続いて、関東甲信越支部主催で開催されたもの。前半の座学ではエイミング作業の内容を明確化することで信頼にもつながり、収益性の改善にもつながることを訴え、後半の実習ではエイニーズガレージのエイミングツールセットを使ったデモが行われた。講師はエイニーズガレージの藤本明治氏。参加者は65人。

これからの整備の必需品

ADAS

OBD車検

エーミングツールキット

全国産車に対応 (トラック対応
輸入車は一部対応)

全項目エーミング可能

エイニーズガレージのエーミングツールなら
アフターフォロー万全
導入に不安な方もご安心ください!



※エーミングターゲットはオプション販売です。

簡単!
正確!

钣金塗装業で培ってきた知識と経験を活かし、当エーミングツールを開発しました。効率性・利便性・作業性の高さを実現し、計測から設置までより簡単・正確に作業できます。

導入後も
安心!

『見えない「安心」を 見える「安全」に』を理念とする弊社は、月間100台以上のエーミング作業を行う実績を持ちます。導入前は全国の現場にお伺いし、ツールの説明や作業場所・作業体制を確認します。アフターフォローでは不明点の解決をはじめ、エーミングセットアップマニュアルの提供や不具合情報の共有など、無料でご利用できますので導入後もご安心ください。

低価格!

自社開発製品かつ直販のため、導入しやすい低価格を実現しました。導入の懸念要素である初期費用を抑えられます。お見積もりはお気軽にお問い合わせください。

- カメラエーミング・レーザーレーダーエーミング・ミリ波エーミング・BSM(ブラインドスポットモニター)エーミング・360°オールアラウンドビューカメラエーミング等の作業に対応するエーミングツールです。
- カメラエーミングとミリ波エーミングのセッティングポイントが同時に測定できるため、3点ポイントの計測が不要です。
- ホンダ車や日産車など前輪中心からのセッティングも簡単にできます。
- 車両中心線からのオフセットセッティングや、BSM(ブラインドスポットモニター)エーミングの際のセッティングポイント計測・360°オールアラウンドビューエーミングのセッティングポイント計測にも対応しております。

ADASエーミングツールBasic Kit ANG-1001 ※エーミングターゲットはオプション販売です。

[キット内容]メインツール/サブツール/車両芯出しクロスレーザー用アタッチメント/カメラエーミング用アタッチメント/ミリ波エーミング用リフレクター/高輝度グリーンクロスレーザーユニット (BOSCH製)メインツール用/高輝度グリーンクロスレーザーユニット (HUPER製) サブツール用/アルミダンパー1.5m×4本 (接続可能で最大6mまで対応可能)/基準点マーカー用プレート 大×2枚 小×1枚/下げ振り
●カメラエーミングに特化した自動車ガラス店向けのツールキットも販売しております。



うちでもエーミングできる? エラーが消えない! 工賃の設定はどうすればいい?

商品について知りたい方、導入をご検討の方は電話・メールにてお問い合わせください。

お見積もり

カタログ請求

0587-81-6567

info@annys-garage.com

全国出張デモ

ご質問・ご相談

電話受付時間 9:00~20:00 (日・祝日除く)

商品の詳細は ▶ エイニーズガレージ



全国各地で躍進する **イチフェイス**

エイニーズガレージ社製「ADASエーミングツール BASIC kit ANG-1001」の導入ユーザーで組織されるイチフェイス。藤本明治社長が掲げる安心・安全な自動車整備を追求し、信用と実績を積み上げていく理念の下、そのノウハウを共有し合い、全国各地で躍進するメンバーを紹介する。

イチフェイスメンバーのご紹介

松井板硝子店

本社/富山店：富山県富山市小島町2-2

代表者	足立一男
創業	1931年
スタッフ数	30人
主な事業内容	ガラス修理・取付
エイミング月間作業台数	200台



(左から) 足立一男社長、向井翼主任、足立卓也取締役

— エイミングツール導入のきっかけは？

特定整備制度の開始とともに、純正スタンドを用いてエイミングを開始したが、効率が悪い上、相談できる相手もいなかった。そのような時、同業者に誘われて参加した講習会で藤本社長と出会い、ツールを導入した。

— 導入して良かった点は？

出張作業に使い勝手が良く、効率化が図られた。また藤本社長からの的確なアドバイスと整備情報の提供によりできる作業が増え、県内のシェアを伸ばすことができた。

— 今後の取り組みについて

ガラス施工のリーディングカンパニーとして、人材と設備へ積極的に投資し、ガラスとエイミングにとどまらないカーアフターマーケットビジネスを展開していきたい。



整備士が6人在籍し、正確なエイミング作業を提供する

大島車輛

次世代車エーミングセンター：宮崎県宮崎市大字瓜生野3731-1

代表者	大島慎弥
創業	1988年
スタッフ数	14人
主な事業内容	一般整備・钣金塗装
エイミング月間作業台数	20台



大島慎弥社長

— エイミングツール導入のきっかけは？

エイミングに関する情報が少ない中、Instagramでつながった同業者が他社製品を使い比べた結果、エイニーズガレージのエーミングツールセットを薦めていた。

— 導入して良かった点は？

全メーカー対応ながら導入コストを安く抑えられた。また、エイミングに必要な情報が車種ごとに見やすくまとまった形で提供されるため、生産性向上の面で大変役立っている。

— 今後の取り組みについて

同業者に対して、エイミングの認知を広めたい。自社では受けきれない外注作業を同業者同士でカバーしあれば、顧客を待たせることもなくなるだろう。



エイミングセンターを増設し認知・普及に努める

International Auto Aftermarket EXPO

第21回 国際オートアフターマーケット
EXPO 2024

2024年3月5日(火)～7日(木)
東京ビッグサイト南1～4ホール

今年は例年よりも少々早く、第21回国際オートアフターマーケットEXPO2024が開催された。国内約200社・団体が出展し、のべ14のセミナー、35の出展者プレゼンも開催された。また、おなじみの塗装実演コーナーが会期中の3日間にわたって開催された他、今回は、10月に開始を控えたOBD検査に関連して、主要メーカーの最新スキャンツールを体験できる、検査用スキャンツール実演コーナーも設けられるなど、大いに盛り上がった(来場登録者は3日合計で17,097人)。改めてここでは注目を集めた主要な出展内容を紹介する。



京都機械工具 大型車整備関連機器をアピール

◆ キャンペーンも展開中

京都機械工具はこのところの展示会では大型車整備に関する機器・ツールを精力的にアピールしている。展示会に前後してタイヤ脱輪ゼロ応援キャンペーンも展開中だ。

◆ 大型車のみならず電動車整備もPR

大型自動車用の工具としては、重量物であるタイヤの上げ下ろしに重宝するタイヤリフターを展示。またHV・EV・PHEVのエンジンやインバーターで頻発するエア噛みを防止するクーラントチェンジャーも展示した。



スタビリンカーブッシュプラー

大型車のスタビリンカーブッシュ(スタビリンカーとタイヤをつなぐ部品)の交換が1人で安全に行える工具。車にタイヤを付けたままブッシュの押し抜き、圧入が可能



グラスウエルドジャパン 3pH洗車対応の洗浄剤他、主力商品を展示

◆ 安全かつ効率的に車の汚れを落とす3pH洗車対応の洗浄剤

アルカリ性→酸性→中性の順に使用することで、安全かつ効率的に車の汚れを落とす3pH洗車対応の洗浄剤を展示。

◆ デントリペアシステム T-Hotbox

IHの強力加熱で鋼板を膨張させて補修する画期的なデントリペアシステム。プラスαのサービスが求められる今、再び注目を集めている。



ウィンドウリペアシステム ZoomII

より透明度の高い仕上がりを実現できるウィンドウリペアシステム。薬液を注入するインジェクターのスタンドにクランプレバーが設置され、より安定感のある作業が可能に



ケキテック 作業実演には常に来場者の目を集めた

◆ 明日の研磨技術を今日の商品で実現する

人の技術が道具と材料とによってフォローされ得ると考え、綺麗に速く仕上がる塗膜研磨用の道具と材料とを開発・製造しているのがケキテックだ。

◆ MaiⅢMasterなどを使って研磨作業を実演

代表の金子幸嗣氏を中心に研磨作業を実演。「研磨後のきれいさ」や「研磨力の幅」などを、測色機を用いて数値化する重要性を解説した。



MaiⅢMaster (マイスリーマスター)

Maiシリーズ最大かつ最強の研磨力を持ち、雨染みや花粉跡、深い傷、自己修復型クリアーの深いペーパー目を容易に消すことができる



ツールプラネット 検査専用・兼用スキャンツールを発表

◆ TPM-6

OBD 検査用スキャンツール (DoIP 接続可能) を標準装備した、整備兼用スキャンツール。便利機能を集約した整備兼用スキャンツールの最高傑作。整備用から検査用へとワンタッチで切替可能。

◆ nanoWIN

DoIP に対応した OBD 検査専用スキャンツール (VCI のみ)。ツールプラネットでは初の検査専用スキャンツール。オプションで様々な機能を追加することが可能。



nanoWIN



テクノツールズ 新型ポリッシャーを披露

◆ ルベス・ビッグフット iBrid コードレスポリッシャー

リチウムイオンバッテリーを搭載した、ルベスの新型コードレスダブルアクションポリッシャー HLR15 及び HLR21 を紹介。駆動時間は 30~40 分、充電時間は 50~55 分。

◆ シャインメイト・ER0600 G2 キット

ベルクロパッド径 125mm、オービット径 9mm のダブルアクションポリッシャーと 2 種類のバフ、コンパウンドをセットにしたスターターキット。



実演・体験コーナー

ブース内にはルベス、フレックス、シャインメイトの各種ポリッシャーを展示。来場者は、それらを用いた磨き作業を実際に試すことができた



プロトコーポレーション 整備工場の集客を支援する各種サービスを紹介

◆ グーネットピット

自動車整備工場をネット上で検索、閲覧できる Web サイト。同サイトの活用による集客効果を PR するとともに、オンライン予約機能などの各種サービスを紹介。

◆ グー故障診断

専用の故障診断機とアプリで、ユーザー向け故障診断書を作成することが可能。オプションとして、OBD 診断や DTC 消去などの機能を追加することができる。



グー故障診断専用機

OBD 検査用スキャンツールとして、日本自動車機械工具協会の型式認定を取得しているグー故障診断専用の故障診断機



ポリバンス 樹脂パーツ補修による収益 UP を提案

◆ ホットエアプラスチック溶接ステーション

エントリーモデルとして、購入しやすい価格に設定されたプラスチック補修ツール。ホットエア溶接機とエアレス溶接機を装備しており、各種樹脂素材の修理に対応が可能。

◆ 窒素プラスチック溶接システム 8000 シリーズ

窒素をシールドガスとして用いることで溶接個所の酸化を防止、強固な補修溶接を可能とするプラスチック溶接機。バンパーやヘッドライトタブなど幅広いパーツの補修に対応。



ホットエアプラスチック溶接ステーションコンプレッサーとの接続が不要なため、持ち運びにも便利なプラスチック溶接機。ホットエア溶接機のトーチは先端が細く、細かい作業が容易

アプティ



商品としては世界初のデュアルレーダー搭載のドライブレコーダーを展示した他、人材に関するサービスとして登録整備士数7,500人、钣金塗装スタッフ数2,500人の出張整備サービスをPR

アルティア (SmartSafe)



ADASキャリブレーション機器などを展開するSmartSafe社の代理店としてタッチレスアライメントテスターを参考出品。各読み取り部にはマグネットでリフト横に取り付け・持ち運びが可能

安全自動車



検査用スキャンツール「スマートOBD」、レーザー光によって錆などを除去するレーザークリーナーの他、タッチレスホイールアライメントテスター「ARGOS」をメイン展示した

インターサポート



自社ブース以外にも検査用スキャンツールコーナーの展示、OBD検査実演、出展者プレゼンと精力的にG-SCANZ・Z Tab・Z Tab OBDモデルをアピールした

エンパイヤ自動車



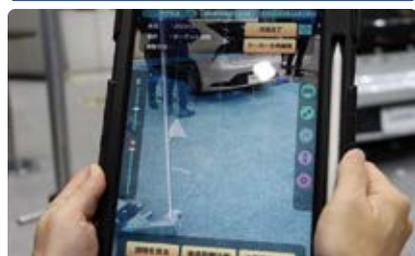
補修部品やドライブレコーダー、ケミカル商品を展示した他、検査用スキャンツールコーナー及び実演ではデンソーの検査対応スキャンツールを使ってOBD検査対応を呼びかけていた

スナップオン・ツールズ



28メーカーに標準対応する整備用スキャンツールとOBD検査に準拠した検査用スキャンツールの機能、さらにはEDR読み取り機能も搭載した新型スキャンツール「MTG-NANO-SET」を展示

BSサミット事業協同組合



指定工場の加盟を促す上でも重要なOBD検査やエイミングについて、イヤサカの協力を得て実演や展示を行った。エイミング支援アプリ「楽々エイミング」はブラインドスポットモニターに新たに対応

BTO



撥水及び疎水タイプの各種ボデーコーティング剤をPR。撥水タイプの「クリスターコートELITE」は、新素材の配合による帯電防止効果で、ホコリなどの汚れがつきにくい被膜を形成する

フォーバル



この難局を自社で乗り切るなら補助金、他社と組んで乗り切るならM&Aの活用を!と呼びかけたフォーバル。多くの聴講客を集めた出展者プレゼンでは昨今のキーワード「戦略的M&A」も解説

明治産業



ADASキャリブレーション作業のVR体験を、MAHLE社のADAS機器を使って実施。また、出展者プレゼンでは、チーフトレーナーの小野庸司氏がSeiken Service Shopの魅力について語った

ヤマウチ



ネット車検予約システムのパイオニア「totoco」がCRM機能を強化。整備システムとの連携もさらに進み、連携メーカーがまた増えた。おなじみの人見いづみマネージャーによるプレゼンも実施

LAUNCH



自社ブースでのPRに加えて、OBD検査実演も行ったLAUNCH。検査用スキャンツールの他、海外では展開中の、遠隔による故障診断サービスを参考出品した

注目のセミナー

自動車整備の高度化に整備事業者はどのように対応していくか。それはディーラーも専門整備工場も、そして車体整備をはじめとする、すべての自動車アフターマーケット事業者が抱える課題のひとつである。その難題をソリューションするヒントを提供するスキャンツールと教育・支援策にスポットを当てた注目のセミナーをレポートする。

OBD車検と特定整備

鈴木 健二 氏

アルティア
機工営業部 シニアエキスパート



OBD検査のスタートが約半年後に迫る中、検査のオペレーションの確立は整備事業者の重要課題となっている。アルティアは特定DTC照会アプリと実際の車検の流れなどを解説し、実践的な情報提供を展開した。特定DTC照会アプリについてはまず使用方法に焦点を当て、車両情報入力から合否判定に至るまで順序立てて説明を行った。一方、車検の流れについては国土交通省が提示する検査の合理化モデルを紹介。OBD検査は本来受け入れ検査と完成検査の2回で、OBD検査用スキャンツールを接続する流れがセオリーとなるが、合理化モデルは受け入れ検査以降にOBD検査の合否に影響を及ぼす整備や改造等を行わない場合、受け入れ時の合格判定がそのまま適用できるというものである。現在、OBD検査はプレ運用期間の只中にあり、検査の実務に踏み込んだ貴重なプレゼンテーションとなった。

OBD検査を含むこれからの整備環境の変化

～変化への対応が求められる整備事業者の味方
＝「G-SCAN」と「トータルサポート」～

南 孝幸 氏

インターサポート
経営企画部 広報-PR 担当



インターサポートが発売するスキャンツール「G-SCAN」はOBDの黎明期より市場から高い評価を獲得してきた。その理由のひとつに製品の信頼性が挙げられる。そして、もうひとつの強みはユーザーの支援策である。整備全般の困りごとに対応する「G-SUPPORT」と技術的な研修会を提供する「G-TRAINING」という2つのソフト面がユーザーを支えている。同社では約2万冊の整備要領書を保有しており、様々な整備の疑問をソリューションする体制を整える一方、「G-TRAINING」についてはディーラーメカニック出身者などから構成する講師陣が基礎からエイミング、EVなどの高度な整備までをカバーする。また、EVトラックメーカーのフォロフライとの提携により、EVの車両診断技術の面でもレベルアップを図っており、診断技術の底上げを続けている。

100年に一度の大変革期を力強く 生き抜く自動車整備工場に 求められること

小野 庸司 氏

明治産業
Seiken e-Garage トレーニングセンター
チーフトレーナー



明治産業は自動車整備の教育プログラムを提供するSeiken e-Garageトレーニングセンターで展開するトレーニングのうち、特に重要な下記4項目をチョイスし、そのポイントをプレゼンした。

- ① CAN通信とサーキットテスターの使い方
- ② ADAS（電子制御装置整備）
- ③ EVをはじめとする電動化車の整備
- ④ 直噴エンジンの知識と整備

いずれも高度な自動車整備に求められる重要な要素として、今後の整備工場経営を左右するファクターである。

小野氏は若い人材のモチベーションを高めることが、自動車の大変革期を力強く生き抜く源泉になるとして、教育の重要性を訴えた。

新商品の概要と 新機能の紹介

瀬戸 貴文 氏

ツールプラネット
営業部長



スキャンツールメーカーのツールプラネットはIAAE2024に合わせ、続々とスキャンツールの新製品を発表。今回のセミナーではそのうち3機種の新製品と新機能について紹介を行った。

同社初となるOBD検査専用スキャンツール「nano WIN（ナノウィン）」と「TPM-5」の後継機に位置付けられる「TPM-6」はともにJ2534領域での次世代車載通信となるDoIP（ISO13400）方式に対応した。また、「nano BT2」はハイエンドスキャンツール「TPM-TAB」の後継機に該当し、さらに機能を充実させた。機能面では、新たにEDR（イベントデータレコーダー）の読み込み機能をリリース。いずれも春以降の発売を見込んでいる。





第14回 接点強化のキは12ヵ月点検

皆様の工場では、12ヵ月点検の入庫状況はいかがだろうか。

前回、整備工場の車販に「顧客接点強化」が重要であることを書いた。顧客との絆を深めるためには、年に1回の車検入庫以外で、いかに顧客との接点を持てるか？ということに取り組み必要がある。

そのバロメーターの一つが12ヵ月点検だ。車検や点検はウォンツ商品（買いたい商品）ではなく、ニーズ商品（買わなくてはならない商品）のため、「できるだけ安く済ませたい」、「できればやりたくない」と考える顧客が多い。車検とは違い罰則のない12ヵ月点検ではなおさらだ。そのため、自社のメリットを明確に打ち出し、他社と差別化を図ることが重要である。

今回ご紹介するのは新潟県の整備工場の事例だ。地元密着で長年顧客に愛されている整備工場で、基盤顧

客台数は3,500台、車検台数は約1,400台/年である。

この整備工場が車販増大を目指し、まず取り組んだのが車検と12ヵ月点検の入庫増大であるが、驚くことに取り組みを開始してわずか2年間で、車検台数は124%、12ヵ月点検は334%と大きく増大している。

なぜこの整備工場がこんな大きな成果を出すことができたのか？

その秘密は、自社の顧客に対し発送する「案内ハガキ」の内容を変えたことにある。

まずは車検や点検の商品力を高めるために、付帯するサービスの内容を見直した。それまでの車検や点検では、「自社のメリット」が弱いため、洗車やタイヤコート、室内クリーニングなどをパックにして商品力を高めた。実は、これまでも洗車や内装掃除は行っていたが、より品質を高め、洗車は撥水コート付き、内装も簡易消臭や抗菌コートを追加した。また、案内ハガキについても、それまではただ点検時期を案内するだけの内容だったが、これらのサービスを魅力的に打ち出して、お徳感のあるパック商品に仕立て上げた。

そしてもう一つ取り組んだのが、来店特典の導入だ。

当初は来店いただく顧客に来店プレ

ゼントを差し上げようと考えていたが、もっと顧客に喜んでいただきたいという想いから『ジャンボガラポン』を導入した。

これは、顧客の来店時にガラポンを回してもらい、出た玉の色に応じて豪華景品をプレゼントするというものだが、そのガラポンが直径約1メートルと異常に大きい。顧客としては、当たった時のうれしさや楽しさを味わうことができるだけでなく、日常でそんな大きなガラポンを回す体験はなかなかないので、非日常感を味わうことができ心に残る。

当たればもちろんうれしいし、外れたとしてもティッシュ2箱を差し上げるので、かなり喜ばれるとのことだ。大事なことは普段体験できないようなことや楽しいことを体験いただく、そんな仕掛けを作ることである。

この整備工場では、2つの取り組みによって、車検・12ヵ月点検ともに大幅な増大を実現しただけでなく、車販の推進のための足がかりを作ることができた。ぜひ、この事例を参考に見直していただきたい。

チームエルの顧客接点体系づくり
DM発送代行サービス
「キズナエール」展開中！

<https://cass.team-l.co.jp/cass/dm/>

入庫台数実績

■ 車 検

1,296台 2020年4月～2021年3月
1,617台 (124%) 2022年4月～2023年3月

■ 12ヵ月点検

276台 2020年4月～2021年3月
922台 (334%) 2022年4月～2023年3月



筆者プロフィール

株式会社チームエル 取締役CMO。2006年に愛車広場カーリンクのチェーン展開開始と同時に、カーリンク基礎研修の開発に着手、その後も直営店の出張査定センターのマネジメントやディーラーコンサルティングなど、幅広く様々な仕事を経験、2014年からはCaSSの会員制度を立ち上げ、会員向けのサービスや企画を開発。

現役マネージャーいづみの

細うで繁盛記

本連載は経営陣と現場スタッフの間で葛藤するマネージャー、工場長、次期経営者に、現役マネージャーが贈る考え方のヒントです。



第2回 設備投資する・しないの見極め

みなさまこんにちは! ヤマウチの人見です。編集長よりいただいた今月号の宿題は「設備投資する・しないの見極め」です。うへえ……これまた荷が重い……。

しかしコラムの題名は「現役マネージャーいづみの細うで繁盛記」です。「どんな困難な問題が襲ってきても創意工夫や皆様のお力添えで必ずや乗り越えるぞ!」って啖呵を切っているようなものじゃないですか! この挑戦、受けて立とうじゃありませんか! そんなわけで、チラシの裏の落書き程度としてお読みいただけたら幸いです(笑)。

まずは直近のお話で、特定整備の認証制度が始まりましたよね。この4月からはバンパー脱着もガラス脱着も車種によっては作業できなくなります(釈迦に説法ですよw ごめんなさい!)さらには、OBD車検の義務化も今年10月に迫っています。当然のことながら、スキャンツールなど諸々を取りそろえていかねばなりません。

ところが調べてみますと、値段はピンキリだし、巷のウワサで「旧型のスキャンツールでも対応できるよう、サプライ

ヤーさんが工夫してくださるかもしれないよ!」なんてことも耳にいたします。ええ! 買わんでええんか買わなアカンのかハッキリしてくれよお……。

新型のスペックを調べてみたら、まるでスマホのような仕様になっておりまして、車にスキャンツールをセットしただけでOBD車検が完了できる手間いらずなモンになっておりました。もちろんウチのメカニックは皆、垂涎ものです(笑)。

とはいえ私は大層ケチなんです(笑)。これまで使ってたスキャンツールの活用方法ももちろん調べるわけですが、専用アダプターをあらかじめ購入しておいて、車両とスキャンツールをつなぎ、データをWi-Fiでパソコンに飛ばせばOBD車検は完了できるとあります。

目を輝かせているメカニックに「ハイハイ、贅沢贅沢。ンなもんいらんやろw」って申しましたら「えッ!? 新型と旧型を比べたら1台当たり10分も検査時間が違うんやで! 対象車種がどんどん増えていくし、ミス軽減もできるのに!」と必至のパッチでくらいつてきます。スキャンツールは管理会計上、

減価償却扱いになりますので、月換算した経費の額はメカニックの仕事量約6時間分と同額です。「ヨシ! そこまで言うなら買うわ! しかした。OBD車検はまだ数えるばかりしか来んからの。別のタスクで、ひと月(6時間×時給換算で算出される実額)円の粗利積み上げを約束しなはれ。どうなん? 出せるん? 出せん!? さあ! どうするよ!」。

ここでメカニックさんがヒヨるようなら新型は買いません。だって、会社は利益を生み出すための集合体ですからね! オモチャが欲しいだけなら、どれほど目をキラキラさせても要求を飲むわけには参りません!

最後に私が信仰している買い物の仕方を書いておきます。「電子機器は、セールスさんの言葉を鵜呑みにせず、ちゃんと自分たちで調べて、できる限り遅く買う」です! だって、後から、どんどん進化版がリリースされるんだもん!

そんなわけでウチは「新型スキャンツールは購入決定! だけどまだ発注はしていない」です(笑)。ご参考のひとつになれば幸いです!



筆者プロフィール 人見いづみ

メカニック全員が退職するという、悪夢のような経験を経て、たった2名からオリジナルブランド「ラチェットモンキー」を立ち上げ、3店舗・年間のべ利用客数28,000人・車検台数6,000を実現。現在は自社開発した予約システム「totoco(とっこ)」を販売しながら、講演活動にも取り組む。

株式会社ヤマウチ

<https://totoco.biz/>



第14回 従業員への開示

実践M&A

こんな時どうする？
具体的なノウハウを伝授！

フォーバル 寺越基格

今回は契約締結について、調印式の様子や過去に私が経験した調印の様子などをお話しました。

契約が終わり代金の決済も終了するといよいよ従業員への開示になります。

なお、時々契約と代金決済の日が別日になる場合があります。クロージング条件の充足と言いますが、契約はしたものの、代金を支払う条件として、たとえばフランチャイズ本部を運営している会社が事業譲渡すると全加盟店との再契約をする必要がありますが、この時に私自身、再契約（継続）できた割合に応じて最終的な代金を決めるという経験をしたことがあります。この時、継続できた割合に応じた価格を事前に決めておかないと、買い手が、その結果を見て買わないとなると譲渡企業はリスクだけを負うことになります。そのため、あらかじめ契約で条件を決めておいてから、通知をする必要がありました。長くなりましたが、いずれにしても、今回は代金決済も終えた前提でお話していきます。

代金決済を終えるといよいよ従業員や取引先などにM&Aで譲渡したこ

とを開示します。これをディスクローズと言います。ホームページ等に掲載する企業もあります。

特に、従業員にとっては、これまでまったく知らされていない中で、急な発表を受けることになります。経営幹部の数名にはあらかじめ伝えることもあります。M&Aは秘密裏に行われるのが原則です。

従業員へ開示する場面に何度か立ち会ったことがあります。かなり緊張する場面です。

あらかじめ、緊急会議などと称して従業員を会議室などに集めてもらい、譲渡企業の社長と譲受企業の方で向かいます。一般的には、譲渡企業の社長から、M&Aで会社を譲渡した事実、自分が決断した背景、お相手の簡単な紹介をしてもらいます。

その後、譲受企業の方から、簡単な紹介、こんな思いでM&Aを進めたことなどをお話してもらいます。この時に、譲受企業から伝えてほしいポイントがいくつかありますが、それは別の回でお話したいと思います。私が、これまで立ち会ったほぼすべての場面で共通していることは、その場で従業員からの反応はほとんどあ

りません。心の中でどう思っているかわかりませんが、「なんでそんなことをした」とか「これからどうなるんだ」とかそういった反論が出ることはありません。反対に、「うんうん」とうなずくこともなく、その場でYesかNoかまったく分からない状況です。

従業員開示を終えると、しばらく打ち合わせをして譲受企業と解散しますが、その後で従業員から「我々はどうなるのか？」などと聞かれます。

そのため、譲渡企業の社長としては、従業員から聞かれそうなことをあらかじめ確認しておくことが大切です。「我々はどうなるのか？」と聞かれて「分からない」なんて答えたら従業員は不信感を持ちます。最後の最後まで従業員への配慮を忘れてはいけません。



筆者プロフィール

金融機関にて中小企業への融資や経営コンサル・M&A実行支援に従事。株式会社フォーバルへ入社後、自動車整備会社をはじめ多くの中小企業のM&A支援に携わり、企業の存続及び成長に貢献。中小企業の創業理念や従業員への想いを重視し、経営者にしっかりと寄り添うコンサルタントとして、経営者からも厚い信頼を受けている。

事業承継・M&Aのご相談はこちら

株式会社フォーバル

事業承継支援部

自動車アフターマーケットチーム責任者 寺越

TEL:0120-37-4086

<https://forval-shoukei.jp/>



杉戸自動車 一般カーオーナー向けに EDRデータの解析デモを実施

杉戸自動車（泰楽秀一社長、埼玉県北葛飾郡）は3月9・10日の2日間、同社の展示場を訪れた一般カーオーナーに対し、EDRデータの説明会を行った。説明を聞いた一般カーオーナーは、EDRデータの存在を初めて知った人も多く、交通事故の経緯を客観的に知ることができることに強い関心を持ってもらうことに成功し、盛況裏に幕を閉じた。

EDRデータは、交通事故などで車両に大きな衝撃が加わった時、事故直前の車両状態（アクセル・ブレーキ・ステアリングの操作状態、車速や横滑り防止装置の作動状態など）や、衝突の大きさや方向が分かるデータ。主にエアバッグコントロールユニットに記録される。現在、保険会社や警察が交通事故分析に利用されているものの、一般のカーオーナーには広く認知されていない。

EDRデータの回収・分析を行うボッシュの認定資格CDRアナリストでもある泰楽社長はEDRデータについて「客

観的データに基づいた事故経緯の説明による納得感がある保険利用、事故車修理におけるダメージ判定などに重要な役割を果たす」と期待を寄せる一方、一般カーオーナーの認知は依然として低く、少しでもEDRデータの存在を知ってもらいたいと考え、今回のイベント開催に至った。なお、実験内容の企画やEDRデータ解析のサポートにブリッジ（藤田隆之社長、山口県周南市）が参加。「EDRデータは事故解析のプロの間では標準ツールになりつつある」としつつ、「たとえば、中古車の品質を推し量る指標として利用すれば、一般のカーオーナーにも利用価値が高い。これからは一般のカーオーナーに呼びかけ、需要を創出していく時期に来ている。そうした意味で杉戸自動車のアイデアに共感した」と協力を申し出た経緯を語る。

内容は、実際の事故車からEDRデータを回収し、一般カーオーナーに記録されたデータから考えられる事故前



後の態様を解説、EDRデータの記録閾値の体験として、目の前で急制動をかけた車両からEDRデータを回収し衝突記録がない様子などを紹介した。

事故車の解析を依頼したカーオーナーからは「車そのものに、走行状態を記録する機能が備わっていることを初めて知った。EDRデータによってアクセルやブレーキ操作が明らかになることで、事故時の自分の記憶が正しかったのか、冷静に振り返ることができる」と、高い評価を得た。また、緊急制動を掛けた車両のEDRデータ回収実験を体験した一般カーオーナーからは「報道等で事故時に何らかの記録が車両側に残ることは知っていたが、急ブレーキを掛けただけでは衝突記録が残らないことが分かった。自分の車に記録がないのか気になってきた」と、中古で購入したという自身の車両に衝突記録がないかを懸念する声が聞かれた。



損傷したアルファード（H35系）。対向車線からはみ出してきた車両と運転席側が衝突した



EDRデータから考えられる事故経緯の説明を受けるアルファードのオーナー。オーナーの証言と一致する記録が出た



急制動実験に用いられたダイハツ・タフト（LA900系）



工場 **ルポルタージュ** [宮崎県宮崎市] **大島車輜** MAINTENANCE SHOP REPORTAGE

業界のため広くユーザーのために エイミングの普及・啓蒙に努める

1988年創業の大島車輜（大島慎弥社長）。一般・車検整備、钣金塗装、車販など、車に関することは何でもお任せな、地域住民にとってなくてはならない整備工場である。ニーズの高まりを受けて、2022年には「次世代車エーミングセンター」を新設。エイミングの普及・啓蒙にも力を入れている。

「次世代車エーミングセンター」 を新設 钣金からエイミングに至るOSS

同社の大きな話題と言えば、2022年、本社の近隣に新設した「次世代車エーミングセンター」である。同センターの誕生により、もともと本社で行っていた钣金塗装もこちらに集約し、分解整備なら本社で、電子制御装置整備ならエーミングセンターでという棲み分けができた。

これも自動車整備の行く末をしっかり見据えた、大島社長のビジョンのなせる業である。「今から5～6年前の時点で、エイミングの必要性を認識した。しかもそれは钣金塗装に付随するものである。しかし、当時は本社

で钣金塗装作業を行っていたものの、エイミングの胆である水平な場所の確保が難しかった。やるからにはベストを尽くしたいという想いもあったことが、次世代車エーミングセンターの新設へとつながった。

そうして完成したエーミングセンターは、まさに钣金に始まってエイミングに至るまでのまさにワンストップ工場、一連の作業はすべてこちらにお任せという工場に仕上がった。車種にもよるが、ガラス交換作業まで可能というから、文字通りワンストップサービスである。

エーミングセンター新設の狙いは、作業場の都合のみならず、顧客に対してエイミングへの理解・認知を広めたいという意図もあってのことだった。「バンパーの脱着・交換などを行えば、

必ず必要になる作業であるとはいえ、3～4年前は「(エイミングが)高い」と言われることが多かった。しかし、エーミングセンターを構えた今、そう言われることも減ってきている。新車販売時にもていねいな説明を繰り返してきたおかげもあるだろうが、顧客へのエイミングの浸透は進んだ。

エイミングは顧客のみならず！ 同業者への普及・啓蒙活動にも注力

一方で、エイミングに対する理解が進んでいないのは周辺の同業者だという。こうした状況であれば、「エイミング作業は自社で独占できる！」となりそうなものだが、そうはならないのが大島社長。逆に1社でも多くの同業者に

社長：大島 慎弥
本社
宮崎県宮崎市瓜生野3147-7
エーミングセンター
宮崎県宮崎市瓜生野3731-1
設立：1991年
スタッフ数：14人（整備士10人）
加盟：エイチフェイス、
AIRオートクラブ



大島慎弥社長（左）と拠点長の大島忠志専務（右）



⑤エーミングセンターで可能な作業一覧

⑥エイミング作業場の床面には距離の目安もマーキング



標識風の本社への案内図がユニーク



もちろんエイミング機材も完備（→関連19ページ）



事前の4輪アライメントチェックもバッチリ



塗装ブースはもちろん完備

もエイミングに対する理解を深めてもらいたいと、普及・啓蒙活動に努めている。折しも取材日の翌々日には、周辺の同業者を集めてのエイミング講習会を自ら開催するとのことだった。

なぜこのような行動に出るのかと問えば、「あくまでエイミングは钣金塗装に付随するものであり、この钣金塗装を依頼した顧客のために行うものと位置付けているので、エイミング作業だけを切り取ってどんどん外注を受けることはしない。それによって顧客にしわ寄せが行ってしまえば本末転倒だから」と、すべては顧客のためというポリシーから1ミリもぶれない。実際、カーディーラーからの要請であっても、手の空いているスタッフがいないことを理由に断ることもあるのだという。

ただし、そこで終わらないのもまた大島社長らしく、自社で断ったエイミング作業、誰かが受けなければその裏には他社とはいえ困っている顧客がいる。この時に自社で受け切れない仕事を受注できる工場があるに越したことはないということで、同業者に対しての普及・啓蒙活動に力を入れているというわけだ。まったくもって頭が下がる思いだ。

目標は高く 全国レベルの待遇を目指す

社業を先代から引き継いで8年ほどになる大島社長。真摯な顧客対応が多くの方に評価されて今の同社があり、こうしたCSの追求はもちろんのこと、

同じように今度はES=従業員満足の向上にも力を入れている。

「昨今、世間では賃上げが叫ばれている流れがある。自社でももちろん給与はアップさせたいし、働き方改革で休日もなるべく多く確保させたい。結果的に会社全体で効率良く仕事を回せる体制が必要で、それを考えるとまだまだ人手が足りない。幸いここまで、私と縁のある方たちが私を頼って入社してきており、今後も常にアンテナを張って良い人材に声をかけつつ、宮崎にとどまらず全国レベルの待遇に自社を持っていければと考えている」と、広い視野、高い目標を掲げて大島社長は挑戦を続ける。

トータルカーメンテナンスを強みに 地域密着型のサービスを

TOTAL-K

社長=川本和孝 所在地=愛媛県伊予郡松前町北川原981-2
使用ソフト=ラクロスII

直需客を中心に ていねいなサービスを提供

愛媛県の県庁所在地・松山市のベッドタウンである伊予郡松前町。県下でも屈指の人口密度を誇る同町にTOTAL-Kはある。2007年に創業後、钣金塗装を軸に整備や車検、車販、コーティングなどのサービスを展開し、カーメンテナンス全般に対応できる設備をそろえている。OBD車検に対してもFAINESを駆使し、最新の車体情報を取得できる環境を整えた。

スタッフは、川本和孝社長と5年前に入社した新進気鋭の技術者の2人で入庫に対応。小～中破の国産車を中心に月間30～40台を処理し、エイミング作業は外注している。工場内のスペースを有効活用し作業効率を上げる意図である。創業から地域に密着した迅速なサービス提供を心掛け、周辺地域を中心とした直需の入庫も多い。昔なじみの顧客を大切にしているていねいな接客姿勢も同社の強みの一つである。

川本社長自身は、カーディーラーの

整備部門での勤務経験を経て、地元の自動車整備工場に転職。そこで8年間の休業期間を過ごし、钣金塗装の技術を基礎から磨き同社の独立開業に至った。また、趣味としてサーキットでドリフト走行などをするほどの車好きでもある。現在は業務に専念しているため取り組めていないが、工場内には中古車をサーキット走行仕様に組み立てるための準備を着々と進めている。

見積り作業に ストレスが少ない

ラクロスIIを導入したのは2023年5月。他社の見積りソフトは独立前の工場勤務時代に使っていた川本社長。事故車修理や車販などでも使用できる汎用性の高さ、その作業性に対する価格に妥当性を感じたことが導入の決め手だった。

「ソフト内の必要項目を順に入力していけば簡単に見積りを作成することができるため、ストレスフリーで作業できている」とその操作性について高く評価した。また部品の必要個数を入



力しやすいのも魅力だと言う。

疑問やトラブルが生じた時の営業担当のレスポンスの早さや、電話対応の的確性については「ていねいに教えてくれるなど、充実したアフターケアにより安心して使用することができる」。

改善してほしい部分として、過去に見積りを作成した車について、同じ車種の入庫があった際に、その見積書を車種に紐付けて閲覧できる機能を追加してほしいとの要望があった。

今後は、収録車種について資料として設定されている標準作業指数や参考指数などを活用し、より短時間で見積書を作成するとともに車販を含めた顧客管理を強化していく方針である。



川本和孝社長（左）とスタッフ



サーキット仕様に組み上げる準備中のボデー



見積り作業風景

あなたに
必要な
システムは

（自動車整備業向け
システム）

（钣金塗装業向け
システム）

どっち？

好評
発売中!!



ARCネットワーク コンプライアンス対応を学ぶ 研修を追加



2021年4月より「ARC ネットワークサービス」の全国展開を開始したジェイシーレゾナンスは、オリジナルの研修テキストを作成して「特定整備入庫対応研修」（基礎編・車体整備編）を全国各地で開催してきた。同サービス利用者以外からの参加も受け入れるなど、これまで約1,250人が受講した。

同サービス利用者はすでに560拠点を超え、独立系自動車整備事業者、カー用品販売事業者、自動車ガラス施工事業者、カーディテリング事業者、燃料販売事業者、自動車補修部品販売事業者など幅広い自動車アフターマ

ーケット事業者が利用している。特定整備にかかわる研修以外にも、新規ビジネスにつながる情報提供（視察、試乗会など）や情報交換会を、全国各地で毎月開催し、地域連携促進を進めてきた。

これまで受講した参加者の意見を受け、これまでの「特定整備入庫対応研修」を「フロントコンプライアンス対応研修」に名称変更し、新たに入門編、車両流通編を追加。さらに、基礎編を電子制御装置整備・OBD検査編へと改編し、車体整備編を含めて4つのオリジナルテキストを使用して、2024年

4月から全国で研修を展開する。

今年4月から特定整備制度が本格運用され、10月にはOBD検査がスタートする。特定整備制度の認証取得がまだ7割にも到達していない中、「フロントコンプライアンス対応研修」はこれまで同様ARC ネットワークサービス利用者以外からの参加（有料：30,000円税別）を受け付ける。また、これまで研修参加条件として基礎編受講が必須だったが、無条件で希望の研修を必要に応じて受講できるよう、コンプライアンス対応を学びたい事業者様を対象に広く参加受付を行う。

入門編

道交法と道路運送車両法を説明しその違いの理解を促すことから始まり、自動車の登録と届出や保安基準、点検と検査制度についてなど、基本的なことを学び、最終的に自動車整備についての理解を深める。



電子制御装置整備・OBD検査編

特定整備制度によって新たに規定された電子制御装置整備の基礎知識から概要、コンプライアンスに則ったオペレーションまでの詳細と、2024年10月より始まるOBD車検についての理解を深める。



車体整備編

コンプライアンスの観点からルールの変更に対し適切に対応するとともに、お客様の期待に応える修理を実現していく体制を整えていくための情報を提供する。見た目は良くても機能や性能が復元できていないケースや、作業環境としての法令遵守が難しいケースなど、車の進化とルールの変化に対し適切に対応していく。



車両流通編

自動車流通を取り巻く変化から、中古車の仕入れ、商品化、コンプライアンスに則った展示車の広告や価格表示から中古車ビジネスにおける役割分担と留意点まで、詳しく伝える。



好評発売中

「整備」を制す!!!



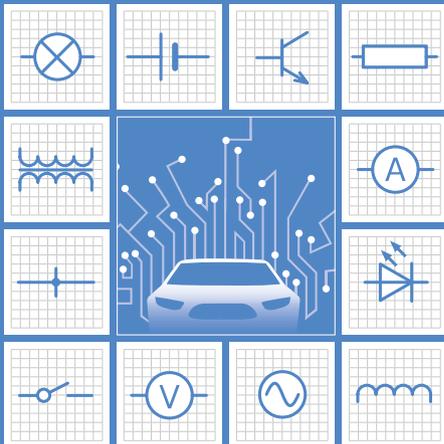
「電気」を制する者は

なるほど! よくわかる!

電動車整備のための 電気・電子の 基礎知識

電気を制するものは整備を制す!!!

山岡丈夫 著



PROTO RIOS

なるほど! よくわかる!

電動車整備のための 電気・電子の 基礎知識

山岡丈夫 著

B5判 / 204ページ / フルカラー
定価3,630円 (税込・送料無料)

2008年から連載の「車体整備士のための
電気・電子と電装品の知識」を再編集し、
新しい項目“電動車の構造と電気回路”を
書き下ろしで1冊にまとめました。

お問い合わせ・ご注文は、
お近くの塗料・機械工具販売店
もしくは弊社までお願い致します。

 **PROTO RIOS**
株式会社 プロトリオス

〒541-0046 大阪市中央区平野町2-3-7
TEL: 06-6227-5661 FAX: 06-6227-5664
ホームページ <https://www.proto-rios.co.jp/>

自動車修理・整備業界専門の 照明会社「株式会社 KTZ」

全国90,000社が、私たちのお客様です。



長期保証で
10年以上の
長期実績

塗装ブース用LED蛍光灯

塗装ブースの温度は、70°C近くに達します。当社の塗装ブース用LED蛍光灯は、信頼の日亜化学社製LED素子を使用。その他の電子部品も多くの国産部品を使用しているため、信頼性が非常に高く全国300社以上の多くの塗装ブースでご利用頂いております。海外塗装ブース・日本塗装ブース用、各種LED蛍光灯の製造可能です。

[一般蛍光灯] サイズ: 1,198×26mm 消費電力: 14.0W
全光束: 2,000lm 色温度: 6,000K
[Phillips TL-D 30W-865 代替] サイズ: 849.6×26mm
消費電力: 15.0W 全光束: 1,800lm 色温度: 6,000K

3年間の保証付き!

導入実績(全国300箇所以上)
SAIMA Delight Eco ANDEX...etc

調色用・磨き用 高演色Ra98ハンディーライト

調色

- 調色に必要な高演色性Ra98を実現
- 今までの光源では見えな色まで確認可能
- 本当の色味を確認出来る
- 全ての色再現に優れた光源

磨き作業

- 高ルーメン値により繊細なキズまで確認可能
- オーロラマーク(ホログラム現象)の確認が出来る
- 太陽光下と同等の作業環境を実現



KTZ-NATURE LIGHT-B

色温度: 6,000K
ルーメン数: 2,400lm/1,200lm/800lm
演色性: Ra98
サイズ: 245×245mm
重量: 1,600g
充電時間: 10~12時間
点灯時間: 2~3時間
リチウムイオン電池: 13,200mAh
その他: 3段階調光

国内最大の UV照射器

KTZ-3969

日本全土のKTZユーザー様より、「更に広範囲を使用出来る照射器が欲しい。」との要望から誕生した、最新最強のKTZ-3969。KTZ-1830と同様の波長を使用し、パワーを400Wにアップし、照射範囲を、10cmで115cm/20cmで150cmを実現。この1台でドアパネルを1回で照射可能。

総重量: 16kg
光源: LG
波長: 285/365/405nm
定格電圧: AC100-240V
消費電力: 400W 照射角度: 120°
照射面積: 10cm~115cm、
20cm~150cm

3年間の保証付き!



KTZ-1830

UV照射器業界初となる3種類の照射波長により、あらゆるUVパテ・LEDパテの他に、UVサフェーサーにも対応が出来る1台。100Wのパワーでφ600mmの広範囲を照射することにより、業務改善・時間短縮に最適な1台となります。
サイズ: 240×240×100mm 総重量: 1.2kg
光源: LG 波長: 285/365/405nm
定格電圧: AC100-240V
消費電力: 100W 照射角度: 120°
照射面積: 10cm~60cm



赤外線 ヒータースタンド セット

KTZ-9001

200Wのハイパワーに3波長の同時照射により、広範囲も完全硬化が可能。180cmのスタンドに、UVサフ・UVスプレーパテの硬化に必要な、トリプル波長カーボンヒーター搭載しています。利便性と広範囲照射を実現したモデル。

重量: 7kg 光源: LG 波長: 285/365/405nm
定格電圧: AC100V 消費電力: 200W(UV照射器)
消費電力: 900W(赤外線ヒーター) 照射角度: 120°
照射面積: 10cm~70cm、20cm~100cm

卸元

製造・販売元



株式会社 KTZ
http://ktz-led.com



商品情報の詳細はホームページをチェック!



ESCO CO., LTD.
http://esco-led.com

株式会社 エスコ



山梨県自動車車体整備協同組合 賛助会員

〒407-0024 山梨県韮崎市本町1-4-23
TEL 0551-23-6451 FAX 0551-23-6452
E-mail tanaka.esco@ymail.plala.or.jp
営業時間 9:00~17:30 定休日 土曜日・日曜日・祝日

**OBD検査用
スキャンツール
認定**



利用料

- ① Gee故障診断(診断書発行) 月額 1,500円
- ② スキャンツールオプション +OBD検査対応 月額 1,500円 ①の契約必須
- ※故障診断6回目以降 1回:300円

Gee 故障診断

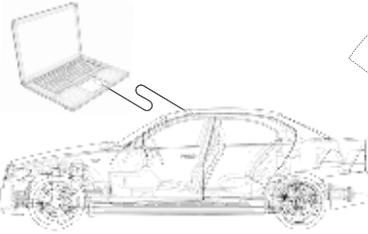
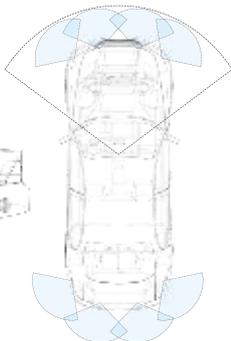
検査用+整備用スキャンツール



故障診断

Gee故障診断書

コンピューター診断結果 診断開始日時:2022/06/13 14:20:19 終了電圧:11.81V
診断終了日時:2022/06/13 14:25:35

※管理部分のある箇所はアイコンが赤くなります

主要項目 診断結果	エンジン 正常	トランスミッション 正常	パワーステアリング 正常
PHV/EV 正常	ABS 正常	エアバッグ 要確認1個	その他 正常
カメラ 正常	レーダー 正常	後方支援 要確認1個	Lidar 正常
先進安全装置		駐車支援 ---	

診断車情報 メーカー:トヨタ / 車名:プリウスPHV / ナンバープレート:岐阜 000 〇 00-00
初年度登録日:2017/03 / 車台番号:ZVW52-0000000 / 型式:DLA-ZVW52

診断実施店舗 店舗名:株式会社 プロト自動車工場 / 郵便番号:234-5678
住所:東京都新宿区西新宿××-×× / TEL:03-0000-0000
FAX:03-0000-0000 / テスターシリアル:DLA-ZVW52

5大メリット

- ① ユーザー向け故障診断書発行
- ② 故障診断書がGeeネット中古車&ピットに自動掲載
- ③ お手持ちのスマホで利用可能
- ④ 月々の利用料(サブスク) ※初期投資不要
- ⑤ アップデート費用0円

OBD検査専用スキャンツール IS-J2534

一般社団法人日本自動車機械工具協会 / 型式試験番号取得 / 型式試験番号 JASEA-KS-12

車両に直接接続



OBD検査対象車種



使用例:車両側

車両側: 本体直接接続
PC側: USB(Type-A)接続



PCまたはタブレット

Windows
10または11



本スキャンツールには、
整備用スキャンツールとしての機能はありません。

ホイールアライメントシステム WA670

最新鋭のカメラシステム&簡単セットアップ



WA670

システムコンソール

ウィンアライン
WinAlign®
ソフトウェア搭載

スピーディで高精度な
測定と膨大なデータの
蓄積ができる最強の
システムコンソールです

OR

HE421

ホークアイ カメラセンサー

最新鋭のカメラシステムで、
スピーディで精緻な
アライメント作業を実現

DSP708/706

無線センサー

作業ベいの制約を受けず、
設置工事不要で簡単に
アライメントを実現



新発売

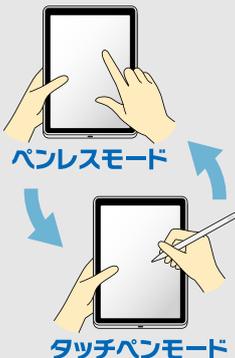
楽々エーミング

ブラインドスポットモニター

対応
モデル

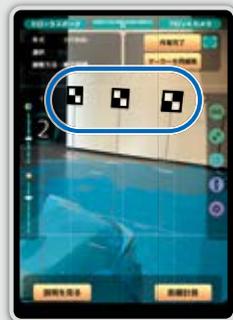
RAKU-EB / エーミング作業支援アプリ

エーミング作業を効率化



ペンレスモード

タッチペンモード



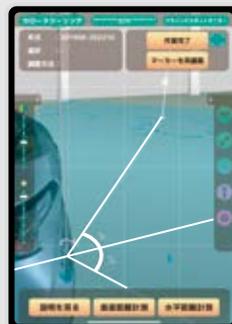
マーカー設置図に従っ
て画面をタップするだ
けで、iPadの画面上に
ターゲットの設置位置
が表示されます



右側ビーム軸確認

単位: mm

ブラインドスポットモニターのターゲット設置位置が
表示されます



※アプリのご使用には「2020年モデル以降 第2世代LiDARスキャナ搭載・iOS15.1以上」のiPad Proをご用意ください

